

令和3年度

事業報告

社会福祉法人あまくさ福祉会

○地域生活支援センターグリーン

- ・ 指定特定相談支援事業
- ・ 生計困難者レスキュー事業
- ・ 自立訓練(生活訓練)事業
- ・ 生活介護事業(共生型通所介護)

○就労サポートセンターぴ～す

- ・ 就労継続支援B型事業

○グリーントポス

- ・ 介護サービス包括型共同生活援助

令和3年度 指定特定相談支援事業報告

【1】概況

指定特定相談支援事業者として相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援出来るものをサービス等利用計画にて作成し、支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行っている。

同時に、必要に応じて医療関係者、学校関係者、各事業所、地域の保健師や保健所等関係機関や専門機関と連携し、障がい児者の意思や人格を尊重し地域で生活していくための相談・支援も行っている。

【2】相談支援・障害種別利用者契約状況

(1) 計画相談 月別実施状況

※相談件数についてはのべ人数

令和3年度月別利用者状況	月	モニタリング件数	計画作成件数	※相談件数	合計
	4月	11	3	97	111
	5月	17	3	90	110
	6月	18	6	48	72
	7月	6	9	88	103
	8月	13	3	91	107
	9月	21	5	75	101
	10月	13	2	95	110
	11月	14	4	94	112
	12月	15	4	87	106
	1月	12	4	92	108
	2月	7	4	76	87
	3月	14	10	95	119
合計	161	57	1,028	1,246	

(2) 支援内容内訳

※相談件数の内訳

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	198	家計・経済に関する支援	45
社会資源の活用に関する支援	101	生活技術に関する支援	12
障がいや病状の理解に関する支援	106	就労に関する支援	58
健康・医療に関する支援	108	社会参加に関する支援	11
不安の解消・情緒安定に関する支援	165	余暇活動に関する支援	4
保育・教育に関する支援	15	権利擁護に関する支援	7
家族関係・人間関係に関する支援	198	その他福祉に関する支援	0
		合計	1,028

(3) 障害別利用契約者数の前年対比

令和2年度 利用契約者数			
身体障がい者	3名	難病対象者	1名
知的障がい者	7名	(男性利用者)	39名
発達障がい者	4名	(女性利用者)	40名
精神障がい者	64名	合計利用者	79名

令和3年度 利用契約者数			
身体障がい者	5名	難病対象者	1名
知的障がい者	12名	(男性利用者)	43名
発達障がい者	3名	(女性利用者)	32名
精神障がい者	54名	合計利用者	74名

令和2年度 サービス種別数			
居宅介護	23名	同行援護	1名
生活介護	15名	自立訓練	11名
通所介護	5名	就労継続支援B型	26名
共同生活援助	15名		

令和3年度 サービス種別数			
居宅介護	16名	同行援護	1名
生活介護	18名	自立訓練	10名
通所介護	0名	就労継続支援B型	33名
共同生活援助	10名		

【3】事業の取り組み

○ご利用者やご家族の立場を理解し、十分なアセスメントや意向調査に基づいたきめ細やかなサービス等利用計画の作成に努めている。また、同じ敷地内にサービス提供の事業所があることから日々の相談業務において迅速な対応調整等の連携を図っている。

○コロナ感染防止のため、感染症対策に努めて面談や担当者会議を実施している。その中で、ご家族やサービス提供機関と情報を共有すると共に、ご本人の頑張りを評価することにより、ご利用者が自己肯定感や将来への希望・意欲が持てるような支援を目指している。

○福祉サービス以外でのインフォーマルな社会資源の利用及び発掘に向け取り組んでいる。

【4】課題・次年度への提起

○新規のご利用者に関してはご自宅や職場を訪問するなどしてQOL(生活の質)の向上を見据えた取り組みを行っているがご本人のサービス利用に対する抵抗感等の課題も多い。

○日々、想定外の課題も生まれており、その都度解決に努力しているが困難事例ケースなどに対応していくため他事業所とのネットワークづくり及び地域資源の発掘等、積極的に関わっていく。

○年齢、障害の種別等が多様化するなか、ご利用者の意向を尊重し、安心・安全に暮らせるためのサービス調整を行っていく。

令和3年度 生計困難者レスキュー事業報告

【1】事業の趣旨・目的

この事業は、社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分にいき、相談活動を行う中で、援護を必要とする方の心理的不安の軽減を図り、また必要な制度、サービスにつなぐこととする。そして、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等の全部または一部を現物により支援する経済的援助を行うことを目的とする。

【2】事業の特徴

- 【1】 事業を実施する法人の施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置
- 【2】 県・市の福祉事務所など公的機関や市町村社協、民児協等と連携し重層的な支援体制の構築を目指す
- 【3】 対象者を限定せず、すべての生計困難者を対象とする
- 【4】 施設に総合相談窓口を開設し、生計困難者の生活課題に対応する
- 【5】 必要に応じて経済的援助をおこなう。現金給付ではなく、担当のCSWが買い物や支払に同行するなどして現物給付で行う

【3】レスキュー事業の実施状況

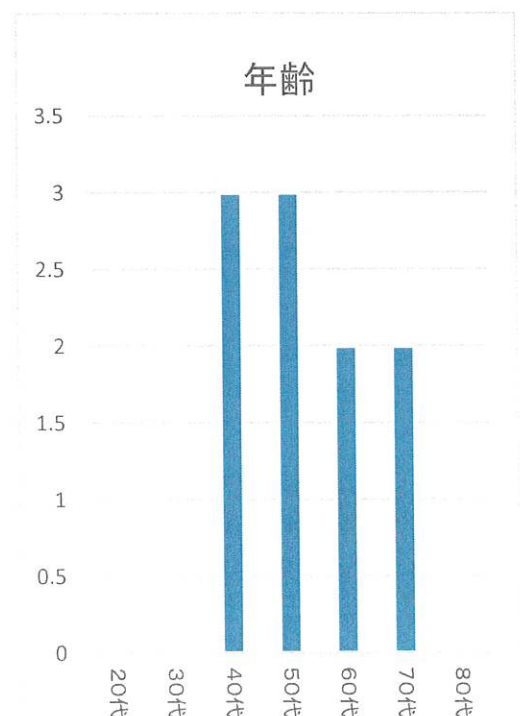
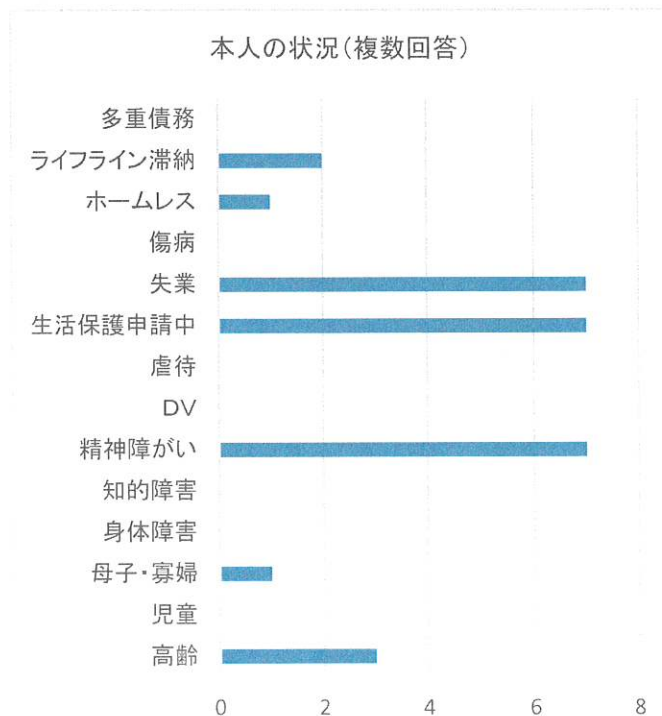
※令和4年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	10	件		
2) 支援終了記録提出	10	件		
3) 基金支払請求	10	件		
4) 支援継続中	10	件	計	195,750円

(2) 支援ケースの状況

月別相談 受付件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	2	0	0	2	0	2	1	0	0	0	2	1	10 件



対象者 男女別	男性	女性	合計
	7	3	10 件

世帯状況	独居	夫婦	母子
	8	1	1

対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
58.6	11	2.9	2.9	¥195,750	¥19,575

【4】生活困難者レスキュー事業に伴う相談者の現状と、これからの課題について

生計困難者に対する相談支援窓口として、社会福祉法人・行政・地域包括支援センター・社協・民生委員・病院・ケアプランセンター・弁護士等があげられますが、それぞれの機関が連携し制度へ繋ぐことを本事業においての最終支援としてます。今年度のケースとしては高齢者で独居、失業、精神疾患を患っている方が目立ち、社会からの孤立が生活の困窮との強い結びつきであることが伺えます。実施したケースにおいては本支援をおこなったことで死(自殺・餓死)犯罪・ホームレスの防止となった例もあります。また、逆に過去に薬物を使用し服役した後、ホームレス生活時に本事業と関わったことから居住地を確保することで就労や持病のための治療を受ける事ができ、社会で新たな生活をスタートしたケースもあります。制度の狭間で支援を受けることができず、困窮に苦しまわれている方々の相談窓口となり、孤立しないような関わりができれば当事者の自立した生活が期待できます。今後も福祉の原点を重視した柔軟な支援を心がけ、相談窓口としての導入部分から制度への橋渡しに力を尽くしていきたいと思っております。

生活介護・通所介護事業 事業報告

【1】サービス内容

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

【2】対象者

生活介護(障がい福祉サービス事業)

○地域や入所施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方で次に該当する方。

- (1) 障害支援区分が区分3(障害者支援施設等に入所する場合は区分4)以上の方
- (2) 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2(障害者支援施設等に入所する場合は区分3)以上の方
- (3) 生活介護と施設入所支援との利用の組み合わせを希望する者であって、障害支援区分が区分4(50歳以上の者は区分3)より低い方で、指定特定相談支援事業者によるサービス等利用計画案を作成する手続きを経た上で、市町村により利用の組み合わせの必要性が認められた方

老人デイサービス(介護保険事業)

要介護認定を受けている65歳以上の方。

65歳以上の第一号被保険者と、40歳以上65歳未満の方で疾病(特定疾病)が原因で要介護認定を受けた第二号被保険者の方

【3】施設概要

施設名称 地域生活支援センターグリーン
所在地 天草市佐伊津町401番5
定員 20名(令和4年3月31日時 登録21名)
管理者 長山 直仁

【4】運営方針

1. 利用者が自立した生活、又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護・創作活動の機会の提供・日常生活能力の維持、向上のための支援を行います。
2. 事業所の実施にあたっては地域との結びつきを重視し、市町村・他の福祉サービス等と密接な連携を図るよう努めます。

【5】事業目標

- ① 職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- ② 温かい心のこもった関わり、介護ができるように努める。
- ③ 利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境を作り、職員と利用者が信頼し合える家庭的な環境づくりに努める。
- ④ 施設内での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援ができるように努める。
- ⑤ 趣味やレクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、自分のもてる持てる強みが発揮できるように努める。
- ⑥ 利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解した上で、利用者本人が自己決定できるよう利用者中心の支援を行う。

【6】活動内容

(1) 日中活動

活動内容	主な活動内容
健康管理	体重測定、散歩等、いきいき体操、くまモンヨガ、ペダル漕ぎ運動
創作活動	花、野菜作り、干し柿作り、壁飾り作り、貼り絵、ぬり絵、押し花等
趣味活動	園芸、山菜採り、書道、散歩、編み物、グランドゴルフ
社会資源活用	ショッピング、ドライブ
調理	料理教室(お弁当作り)、おやつ作り(誕生日会)
レクリエーション	ピクニック、カラオケ、茶話会、季節行事
個別支援	予定確認、金銭計画、常時相談等
その他の行事・活動	グリーンフェスタ

(2)年間行事報告

4月	お花見、グランドゴルフ、下田足湯ドライブ	月例行事 ・誕生日会(随時) ・DVD鑑賞会(随時) ・カラオケ(随時) ・外出行事(随時) ・倉本Dr.問診 (1回/2ヶ月)
5月	グランドゴルフ、園芸作業	
6月	芋植え、避難訓練、卓球、花植え	
7月	七夕、花の種まき、スカットボール、フェスタ飾り作り	
8月	壁飾り作り、スイカ割りゲーム、ダンス練習	
9月	グリーン&ぴ〜すだけフェスタ、花植え、しそジュース作り	
10月	ハロウィン飾り作り、室内レク大会、	
11月	芋ほり、慰安旅行(1泊・日帰り)、クリスマスの飾り作り	
12月	クリスマス会、大掃除、忘年茶話会、干し柿づくり、こころすへ行こう、門松作り	
1月	書初め、新年の目標立て、初詣、鏡開き、焼き芋会	
2月	節分(豆まき)、女性利用者お菓子作り(バレンタインデー)、卓球	
3月	ひな祭り・男性お菓子作り(ホワイトデー)、花見ドライブ	

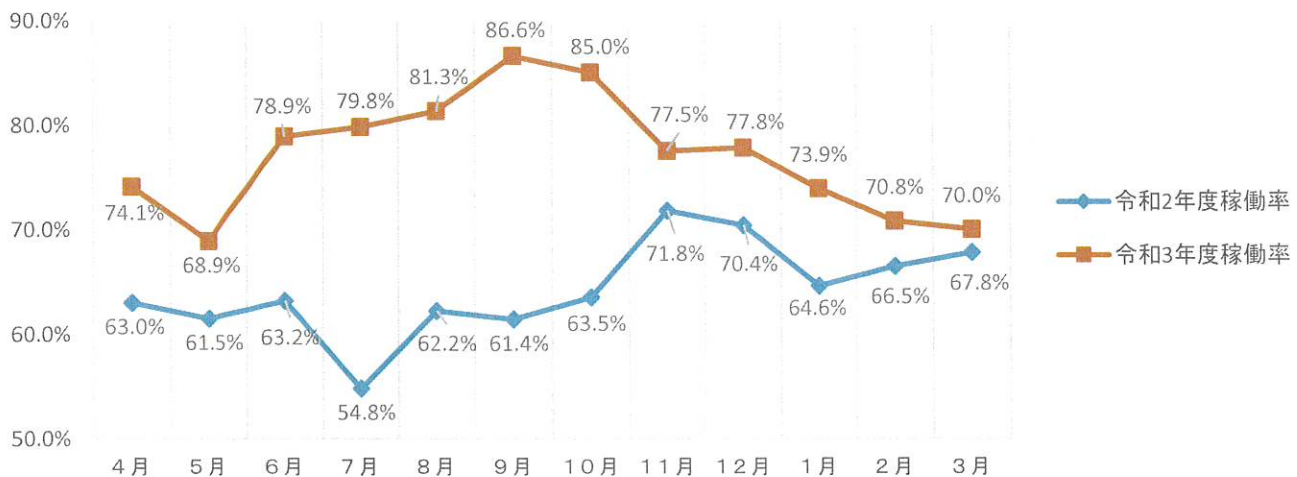
【7】利用者情報

年齢 性別	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳
男性	0名	0名	1名	3名	5名	0名	1名
女性	0名	0名	0名	3名	8名	2名	0名

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	326	317	347	367	374	381	391	341	358	340	283	322
稼働日数	22	23	22	23	23	23	23	22	23	23	20	23
稼働率	74.1%	68.9%	78.9%	79.8%	81.3%	86.6%	85.0%	77.5%	77.8%	73.9%	70.8%	70.0%
登録者数	19	20	22	22	22	23	23	23	22	22	22	23

登録者数内訳												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	14	14	15	15	15	16	16	16	15	15	15	16
通所介護	5	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7



【9】令和3年度の振り返り

コロナ禍が継続する中で様々な制限があり、利用者の気分転換や楽しみとなるプログラムが実施しにくい状況であった。感染拡大状況や感染リスクを考慮して、感染症予防対策を徹底した上で、天草内での慰安旅行やグランドゴルフ等の屋外での活動を取り入れる事が出来た。
4月から生活介護・通所介護共に人員の変化があり19名から23名に登録者数が増えた。稼働率が9月までは86.6%と目標とする90%に近づく事が出来ていたが、11月からは体調不良や事情等で入院する方が少しずつ始め、3月までには70%にまで下降する形となった。登録者数は増えてきているが、今後1年を通して稼働率を維持させる為にも、日々の利用者の言動や行動等、細やかな変化に気づき、職員間で対応できるような体制を整えていく必要があると感じた。利用者が楽しく安心して来所できるような環境作りを今まで以上に目指していこうと思った。

自立訓練（生活訓練）事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居宅において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

10名（令和4年3月31日時 登録8名）

【4】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員（訪問兼務）	1名	

【5】利用期間

原則2年間（1年延長可）

【6】事業内容

（1）個別支援計画

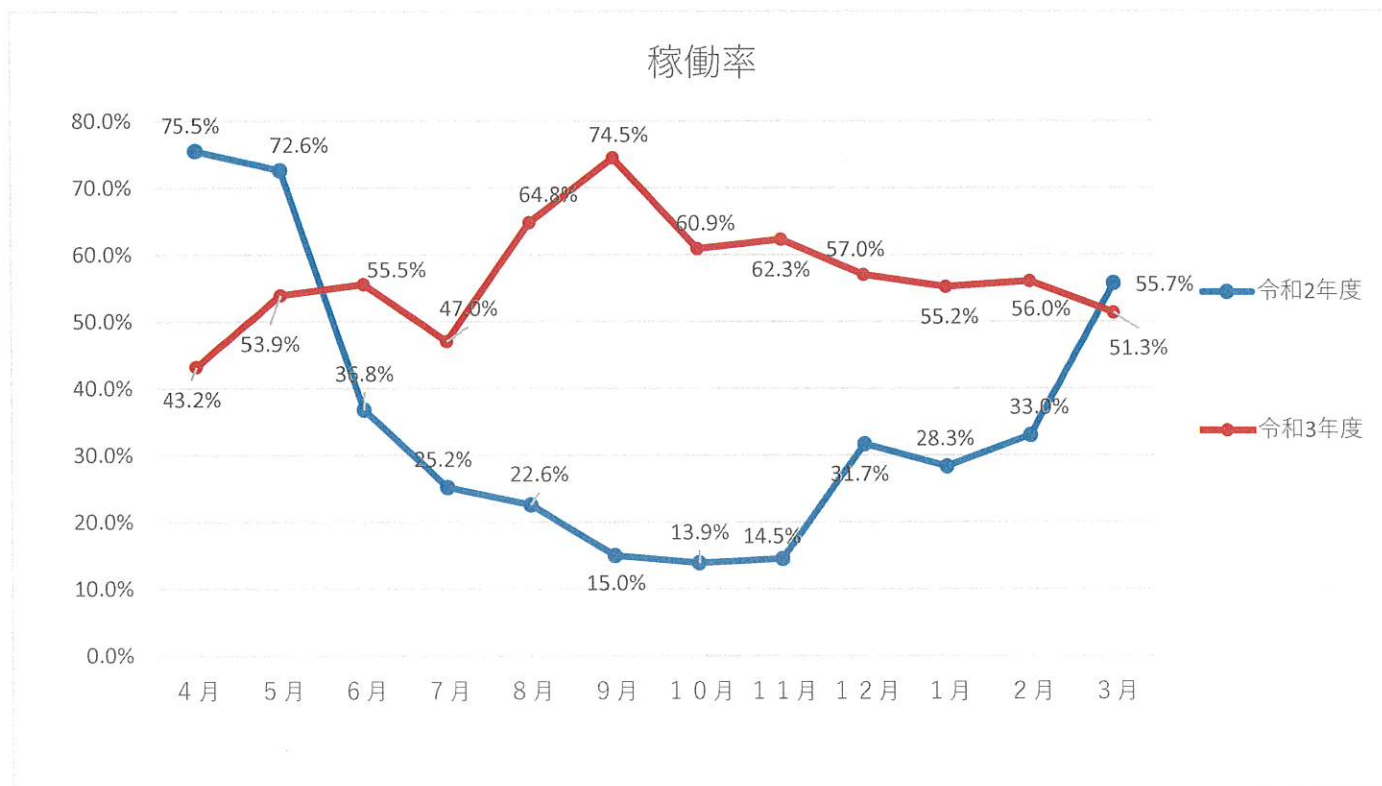
- ① 本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ② 個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③ 一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

（2）訓練プログラム

プログラム内容	回数	主な活動内容
健康管理	87回	スポーツ全般、バイタル測定
コミュニケーション	48回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	49回	料理教室、栄養講座等
金銭管理	12回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て、買い物学習
社会資源活用	33回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について
就労支援	81回	ファームিং、施設見学、就労体験、クリーン活動
文化・芸術	90回	創作活動、書道、映画・音楽鑑賞
自主活動	63回	趣味活動
生活支援	38回	生活ゼミ（衛生や日常生活）
個別支援	52回	予定確認、振り返り、金銭計画、相談等
その他の行事・活動	31回	グリーンフェスタ、スポーツ交流会等
合計	584回	

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	95	124	122	108	149	164	140	137	131	127	112	118
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
稼働率	43.2%	53.9%	55.5%	47.0%	64.8%	74.5%	60.9%	62.3%	57.0%	55.2%	56.0%	51.3%



【8】令和3年度の振り返り

利用者の年齢層が若年化、障害種別も知的障害や発達障害の方が多くなり、サービス利用の形も多様化してきた。就労継続支援B型との併用利用の方や、週に2～3日の利用を希望される方が多かったことから、稼働率は平均56.8%と令和3年度の目標稼働率には届かなかった。プログラムについても、障害特性や年齢層に応じて手法を変えていく必要があり、その難しさを強く感じた1年間であった。その状況の中でも、サービス利用の日数や時間を増やす事が出来た方や、自分の課題に気づき改善を心掛けられるようになった方など、利用者自身の成長を日々感じられる1年間でもあり、利用者1人1人と密にかかわることが出来た経験は来年度にも活かしていきたい。

就労継続支援B型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ～す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が作業の対価である工賃をもらいながら、自立した日常生活または社会生活を営むために、特性や体調に合わせて、一人一人に合った作業内容で安心して働くことが出来るよう、様々な就労の場を提供し、継続・安定して就労ができるよう支援します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであって、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであって、年齢や体力の面で雇用される事が困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等の把握が行われている者

【4】作業内容

(施設内)

- ・ハンドメイド商品の製造・販売
- ・ちゃんぽん・ラーメン委託梱包作業(有限会社 アツカコミュニケーションズ)
- ・ひじき・青のり委託梱包作業(合同会社シーベジタブル)

(製造作業)

- ・うどんの製造作業

(施設外)

- ・小川水産(ふぐの食品製造等)
- ・合同会社シーベジタブル(海苔の陸上養殖に付随する作業等)
- ・天草地域福祉施設製品販売促進における複合施設こらす喫茶ブースでの販売
- ・ワイズデポ(家具解体作業)
- ・個人宅除草作業

【5】利用定員

26名(令和4年3月31日時、登録27名)(令和4年度から定員30名)

【6】利用期間その他

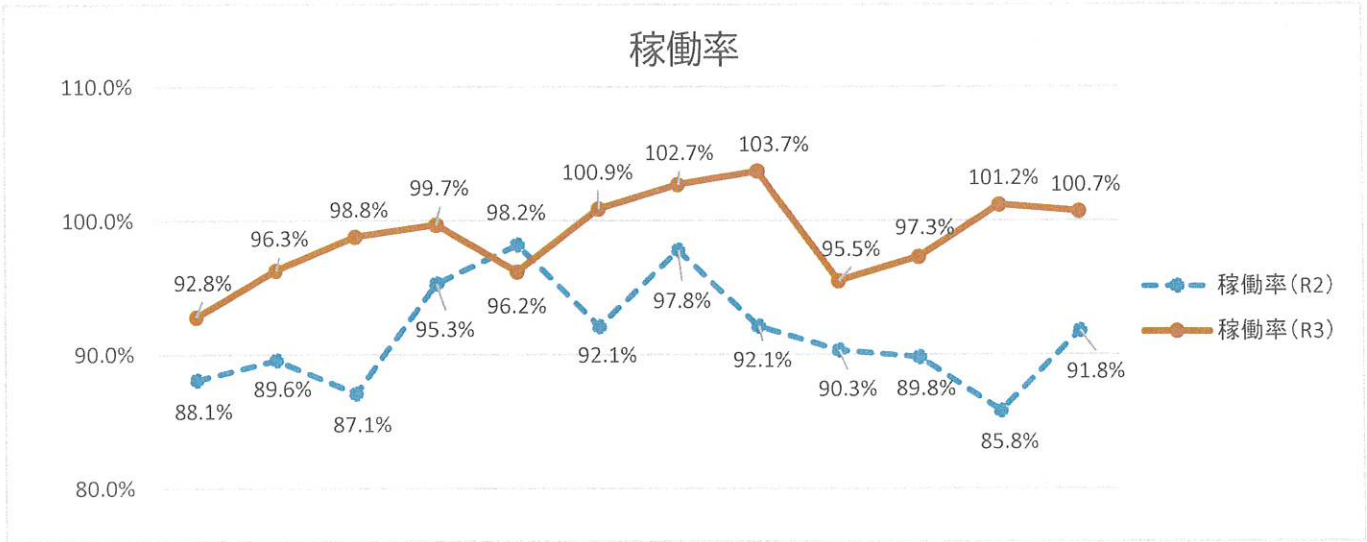
利用期間の定めなし

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
令和3年4月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和3年5月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和3年6月18日	天草市役所販売会	天草市役所
令和3年7月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和3年9月21日	天草市役所販売会	天草市役所
令和3年11月19日	天草市役所販売会	天草市役所
令和3年12月3～5日	ふれあいハートウィーク地域イベント	天草市複合施設こらす
令和4年3月18日	天草市役所販売会	天草市役所

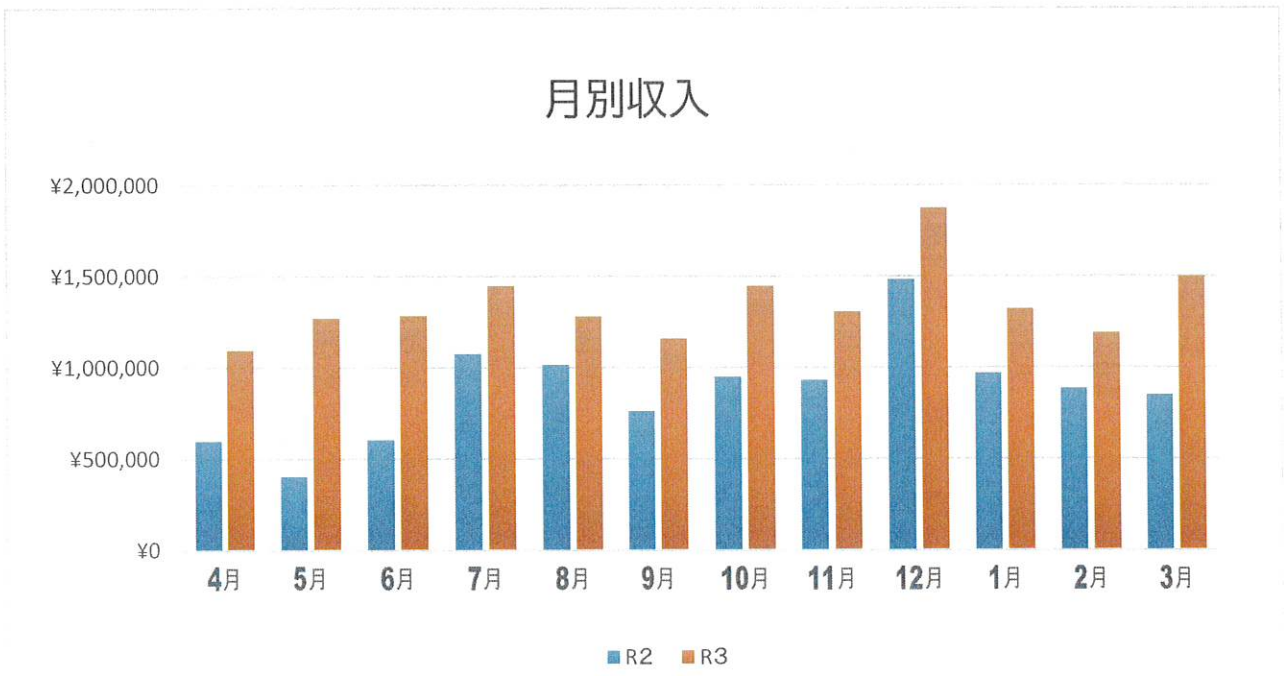
【8】 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 稼働率
利用回数(R2)	504	536	498	570	587	527	540	527	540	537	446	549	
利用回数(R3)	531	571	562	591	560	567	605	584	568	570	522	598	
稼働率(R2)	88.1%	89.6%	87.1%	95.3%	98.2%	92.1%	97.8%	92.1%	90.3%	89.8%	85.8%	91.8%	91.5%
稼働率(R3)	92.8%	96.3%	98.8%	99.7%	96.2%	100.9%	102.7%	103.7%	95.5%	97.3%	101.2%	100.7%	98.8%



【9】 月別収入

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間売上
R2	¥598,928	¥408,111	¥607,268	¥1,077,743	¥1,017,605	¥764,032	¥950,768	¥932,962	¥1,484,379	¥969,691	¥887,969	¥852,968	¥10,552,424
R3	¥1,095,817	¥1,271,227	¥1,284,262	¥1,449,680	¥1,281,802	¥1,159,145	¥1,446,977	¥1,305,540	¥1,873,737	¥1,322,584	¥1,189,701	¥1,498,384	¥16,178,856



【10】平均工賃

	令和2年度	令和3年度	前年度比
目標工賃	18,000円	25,700円	(+7,700円)
実績工賃	25,277円	33,806円	(+8,529円)

最高工賃額(59,455円)

【11】R3年度の振り返り

令和3年度の利用者の稼働率、利用状況を見ると、長期入院者、欠席者もおらず、安定して出勤できる利用者の方が増えたことで昨年と比べても稼働率や利用日数も増加し、100%を超える月もありました。

収入としては、施設外就労に行かれる利用者の方や、安定して勤務表通りに出勤し、作業を時間いっぱい行うことが出来る利用者の方が増えたことによって、月別収入、平均工賃が上がったと考えられます。

施設内作業では、アツカコミュニケーションズの梱包作業、新規委託作業でシーベジタブルの青のり梱包作業、ひじきの梱包作業など、利用者の方の特性を生かしながら作業を行える就労の場を提供することができました。また、利用者の方の作業効率が上がり、少人数でも委託先が求める品質の商品、納品期日までに必要な個数を無理なく納品できたことが収入に繋がったと思います。

こらすの喫茶販売業務はお客様の声を聴き、商品の入れ替えや定期的な見直しを行ったことでリピーターも増え、収入に繋がったと考えられます。こらすで販売業務を行う利用者の方も商品に興味を持ち、お客様に対しての声かけも工夫されながら販売業務を行うことができました。こらすで販売されている商品の中から人気な商品、そのシーズンに合った商品をプチギフトとして販売し、ラッピングも工夫したことでお客様に喜ばれる商品を販売することができ、こらす喫茶の宣伝にもなりました。

施設外就労では、新規委託先も増え、自分に合った就労の場で施設外就労に取り組むことで、継続的に出勤出来るようになりました。作業の役割を固定して配置し、同じ作業を行うことで理解力が増し、集中して作業に取り組める利用者の方が増えました。作業性や正確性が高まり、委託先のニーズに応えられるようになってきており、就労の目的や目標に対する認識と行動に前向きさも感じられるようになりました。

市役所販売会では、コロナウイルスの影響で実施できない事がありましたが、12月の複合施設こらすでのふれあいハートウィークのイベントでは多くのお客様が来てくださり、アンケートを実施した際も、嬉しいお言葉をたくさんいただく事が出来ました。

今後も、利用者の方にぴ～すで仕事がしたい、頑張りたいと思ってもらえるよう、仕事がスムーズにできる環境づくりや、気分や体調の変化を相談しやすい環境を作り、利用者の方の工賃向上にも繋がるよう、支援していきたいと思えます。

介護サービス包括型共同生活援助事業 事業報告

【1】施設名

グリーントポス

【2】目的

指定共同生活援助の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な指定共同生活援助の提供を確保することを目的とする。

【3】利用定員

10名（令和4年3月31日時 登録10名）令和3年度:退所者0名、新規利用者0名

【4】利用対象者

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【5】利用期間 定めなし

【6】事業内容

(1)個別支援計画

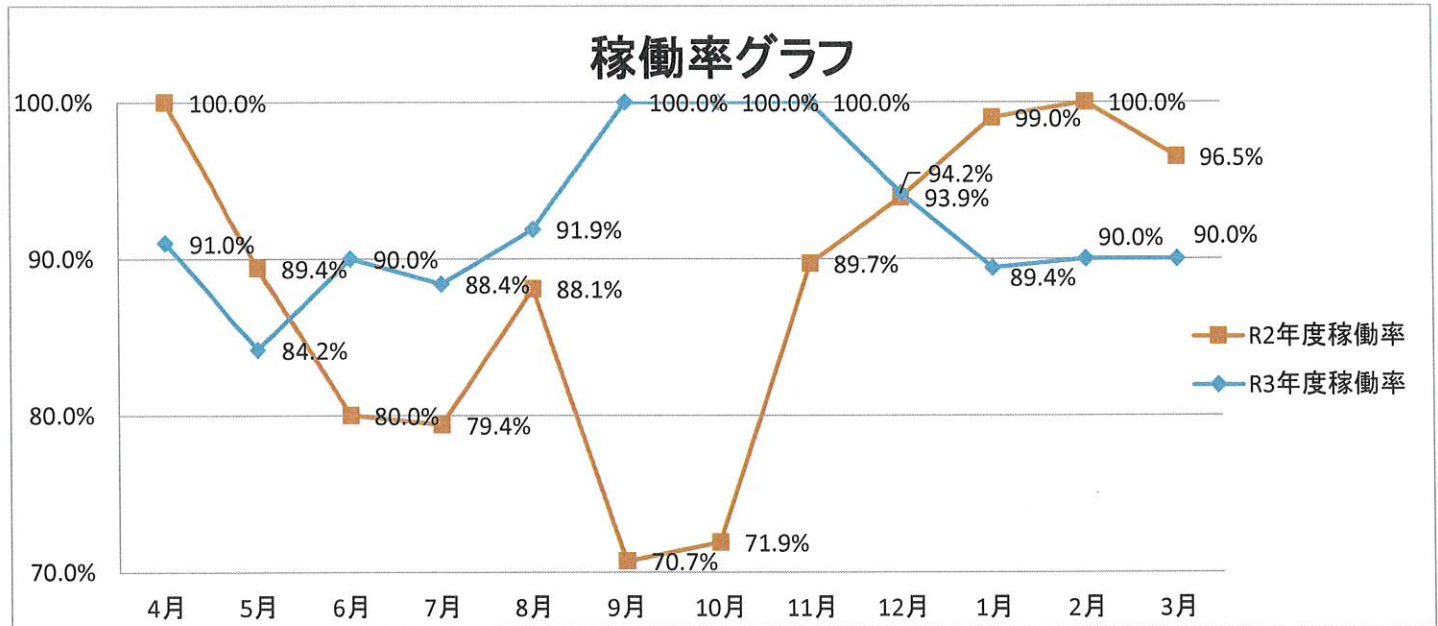
- ① 本人の意向に沿った計画を個別に立て、実施する。
- ② 個別支援計画策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員とカンファレンス会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③ 3ヶ月に1回モニタリングを行い個別支援計画が適正に行われているかを確認する。

(2)支援内容

- ① 利用者に対する相談
利用者及び利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行います。
- ② 食事の提供
世話人が栄養と各人の嗜好を考慮して、バラエティーに富んだ献立を工夫し、提供します。（食材料費及び食事に係る水道光熱費は対象外サービスです。）
- ③ 健康管理・金銭管理の援助
服薬管理（入居者又は入居者のご家族の希望により若しくは主治医の指示で服薬管理を行います。）
 - ・事務所で預かり、服薬を行う時間に入居者の方に手渡し、服薬して頂く。
 - ・生活費の管理方法や使途方法等について必要に応じて相談支援を行います。
- ④ 余暇活動の支援
地域商店への単独買い物等を支援し、自主性を育てるとともに、余暇活動として地域行事の情報を提供し、参加を促進します。
- ⑤ 緊急時の対応
サービス提供中に、利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治の医師への連絡を行う等の必要な措置を講じるとともに、利用者が予め指定する連絡先にも連絡します。
- ⑥ 日中活動の場等との連絡・調整
日中、自立訓練事業やデイサービス等他のサービスを利用する場合、また職場に通勤する場合等に、必要に応じてサービス提供事業者や職場等と連絡・調整を行います。
- ⑦ 財産管理等の日常生活に必要な援助
食事、排泄、入浴、着替え、整容等について日常生活に必要な援助を行うとともに、財産管理に支援が必要な利用者について、成年後見制度の利用を促進するなど必要な援助を行います。
- ⑧ 夜間における支援
夜間において支援を行うものを配置し、就寝準備の確認、寝返りや排泄等の支援を行うとともに、緊急時の対応を行います。
- ⑨ 体験利用における支援
契約を希望されている方に、生活上の不安の解消等を目的として、正式な契約締結前に「体験利用」として支援を行います。
- ⑩ その他
上記に附帯するその他必要な介護、支援、家事、相談、助言を行います。

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
利用日数	273	261	270	274	285	300	310	300	292	277	252	279	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
稼働率	91.0%	84.2%	90.0%	88.4%	91.9%	100.0%	100.0%	100.0%	94.2%	89.4%	90.0%	90.0%	



【8】入居者情報

年齢 性別	18歳～20歳	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳
男性	0名	1名	1名	0名	4名	2名	0名
女性	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名

【9】日中福祉サービス利用状況

施設名称 事業名称	地域生活支援センターグリーン			就労サポートセンターぴ～す		その他
	生活介護	通所介護	生活訓練	就労継続支援B型		
男性	3名	1名	0名	4名		0名
女性	1名	1名	0名	0名		0名
合計	4名	2名	0名	4名		0名

【10】会議及び研修

- 1、天草地域自立支援協議会：地域生活部会
- 2、グループホーム職員会議
4月26日(月)、5月26日(水)、6月28日(月)、7月26日(月)、8月26日(木)、9月27日(月)
10月26日(火)、11月26日(金)、12月27日(月)、1月26日(水)、2月26日(土)、3月26日(土)
- 3、法人全体会議
4月1日(木)、5月6日(木)、6月1日(火)、7月1日(木)、8月2日(月)、9月1日(水)
10月1日(金)、11月1日(月)、12月1日(水)、1月4日(火)、2月1日(火)、3月1日(火)
- 4、利用者会議：随時

【11】令和3年度の振り返り

昨年度も、令和2年度に引き続きコロナ感染拡大防止のため、外出制限や面会制限を行った。入所者の外出時のマスク着用、外出先や帰宅後の手指消毒を声掛けし定着することができた。外出ができず不満の声もあったが、天草管内での市中感染が拡大し誰がどこで感染してもおかしくない状況である事を理解し不満の声もなくなった。

環境整備では、畑を耕し野菜を一緒に植えたり収穫を一緒に行うことで、入居者の楽しみも増えた。退所者もなく入所者数は安定しているが、現在2名の入院中である。グループホーム行事等は年間を通して順調に行うことができたが、年齢的や身体的な面で歩行状態が不安定な方3名いるので、今後は行事等で行く場所も検討しなければならない。